

新型コロナ各種支援制度

コロナに負けない！

締め切り間近 申請の再確認を

久留米市は、事業者のコロナウイルス感染症対策を支援しています。支援金などの締め切りが迫っています。申請忘れがないか再確認してください。

特別定額給付金

国から支給される1人当たり10万円の給付金は、期限を過ぎると受け取れません。忘れずに手続きをしてください。不明な点は、コールセンターに連絡を。
■締め切り8月18日(火)
 〇特別定額給付金コールセンター (☎0942・30・9757、FAX0942・30・9107)

新しい生活様式応援金

消毒液や間仕切りの設置、フェイスシールドの着用といった感染症対策を行っている中小事業者に、応援金を支給します。
■対象小売業や飲食サービス業

など、市内で来店型の店舗を営んでいる事業者

■支給額法人5万円、個人4万円。2店舗以上の場合法人10万円。個人8万円

■締め切り8月31日(月)

〇事業者支援金コールセンター (☎0942・30・9750、FAX0942・30・9824)

観光・MICE支援金

大規模な会議・学会の開催



カラオケハウススマリオでは、消毒液設置やマスク着用などさまざまな取り組みをしています

や観光客受け入れのため、消毒液の設置やパーティションの設置などに取り組む事業者へ支援金を支給します。

■対象ホテル、旅館、観光バス会社、タクシーなど

■支給額ホテル、旅館は1室当たり1万円。10室以下は一律10万円。または、施設延床面積×500円。観光バス事業者は1台当たり5万円。タクシー事業者は1台当たり2万円。MICE関連施設運営者は施設延床面積×500円。上限額は200万円

■締め切り8月31日(月)

〇観光・国際課 (☎0942・30・9137、FAX0942・30・9707)



市ホームページは「新型コロナウイルス支援情報」へ詳しくはQRコード

医療のまちの原点を次代へ

久留米大学本館が国の登録有形文化財に

7月17日、国の文化審議会は文部科学大臣に、旭町の久留米大学本館を登録有形文化財にするよう答申しました。官報告示後に正式に登録されます。

時代の特色を表した建物

有形文化財は、建造物、工芸品、彫刻、古文書などの有形の文化的遺産で、歴史上、芸術上、学術上価値の高いものをいいます。その中で、地域に親しまれている建物や、時代の特色をよく表したものを、再び造ることができないものを、国が登録有形文化財に登録。市内に7件の登録有形文化財があります。

大学建築では県内初

久留米大学本館は、平成4年に近代化遺産総合調査リストに掲載され、これまで文化庁調査官による現地視察や、市の調査が行われました。今年、市は登録に向けて、同大学の同意を受

久留米大学本館は、ロマネスクの歴史意匠を呈調とした格調高い建物です

地域で頑張る皆さんに エールを送ろう

音楽のまちを守りたい

新型コロナウィルスで生活がかわっています。奮闘する皆さんにインタビューしました。

ライブハウスでクラスタリが発生したという報道がされて以降、お客さんが一気に減りました。外出自粛も相まって、ライブやイベントはすべて中止。お客さんの安全も考慮して3月から休業していました。

当然収入はありませんが、家賃や従業員の賃金はいや応なしにのしかかってきます。配信ライブなどWithコロナの環境での新しい取り組みのために投資も必要ですが、それもままならない。大変です。

それでも7月から少しずつライブを再開しています。お客さんに少しでも安心して楽しんでもらうため、そしてライブハウスのイメージアップのために感染症対策にもしっかり取り組んでいます。体温計や消毒液の設置はもちろん、マイクな



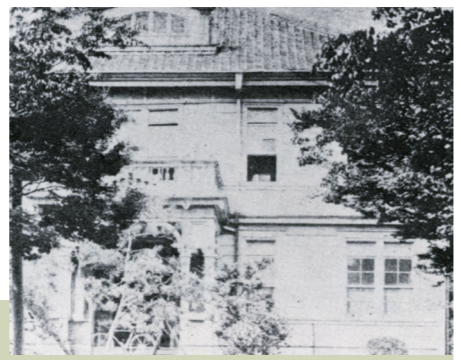
FUNKY DOG 近藤欣弘さん

どの消毒や24時間換気も行っています。席数も60席から20席に減らして、ソーシャルディスタンスを確保しています。

音楽のまち久留米は、ライブハウスで育まれてきたと思います。その文化を守り、さらに発展できるように頑張っています。みんなで乗り越えましょう。

「ライブハウスは危険という認識を少しでも払拭したい」と話す近藤さん

明治22年に開院した久留米病院。正面玄関のアーチは、現在の久留米大学本館にもその形を引き継いでいます



け、市教育委員会の意見書を文化庁へ提出。国の文化審議会は、文部科学大臣に登録の答申を行いました。官報告示後に登録有形文化財になります。大学建築が登録されるのは県内で初。

同大学の永田見生理事長は「今回の登録は大変名誉なことです。創立から90年余りの歴史を皆さまに感じていただけたる良い機会になったのではないかと思います」と喜びを語りました。

〇文化財保護課 (☎0942・30・9225、FAX0942・30・9714)



市ホームページは「久留米市内の指定文化財」へ詳しくはQRコード

全国に誇る 医療のまちの礎に

久留米大学の歴史は、明治22(1889)年に当時の明善高校西側に開院した久留米病院にさかのぼります。昭和3(1928)年に旧制九州医学専門学校が設立されるのを機に同校に寄付されました。同専門学校の敷地と建設費は、日本足袋(現・アサヒシューズ)社長の石橋徳次郎氏と、のちのブリヂストンの創業者の石橋正二郎氏によって寄付され

たものです。設計は、重要文化財・旧門司三井倶楽部を手掛けた松田昌平です。27(1952)年に現在の久留米大学医学部に。地域のニーズに対応できる医師をはじめ、高水準の医療や最先端の研究を推進する人材を育成してきました。久留米市が全国有数の「医療のまち」と呼ばれる原点になっています。